

JDA-DAT埼玉

能登半島地震支援経験から

支援・受援の体制づくり

(公社) 埼玉県栄養士会 副会長 前川哲雄

発災 2024年1月1日

JDA-DAT埼玉 初回活動日

2024年1月13日～15日

フェーズ **0～1 (要配慮者の食品不足)**

- ・ 必要とされているのは？
- ・ 求められているのは？

1/13-15までの活動

長野県、静岡県、埼玉県での活動

物資運搬班（長野3名、静岡1名、埼玉2名）と1.5次避難所班（静岡2名、埼玉1名）に分かれました。



1/13-15までの活動



1/13 特殊栄養食品 搬送 金沢市 → 七尾市 (73km)

	1/14 (B)	1/15 (A)	1/16 (火)	1/17 (水)
	AM	PM	AM	PM
指揮車 マフラー 品川338 は 84				
工場の海 ハイース	七尾 → のじ町役場 → 津島役所	のじ町役場 津島役所 → 七尾 佐賀町役場 → 津島役所 → 七尾	七尾 → 金沢	金沢 → 七尾
金沢 → 七尾			七尾 → 津島役所 → 津島役所	津島役所 → 七尾
JDA DAT 軽バントス	七尾 のじ町役場 → 津島役所	のじ町役場 津島役所 → 七尾	七尾 → 金沢	金沢 → 七尾
金沢 → 七尾			七尾 → 津島役所 → 津島役所	津島役所 → 七尾
JDA DAT 軽バントス	七尾			
JDA DAT 河村署 車番	七尾 → 金沢 → 七尾	七尾 → 金沢 → 七尾	七尾 → 金沢 → 七尾	七尾 → 金沢 → 七尾





1/14 特殊栄養食品 搬送 金沢市 → 七尾市



1/14 特殊栄養食品 搬送 (DMAT救急車) 七尾市 → 珠洲市(85km)、輪島市(60km)



災害時要配慮者（災害弱者）

Child

こども

Handicapped

障がい者

Elderly People

高齢者

Chronically ill

慢性疾患

Tourist

旅行者*

Pregnant

妊 婦

* ハラール（ハラル）：イスラム教で食べることが許されている食材や料理のこと

ハラーム（ハラム）：口にすることが禁止されている物のこと

被災地での栄養・食生活における栄養課題と支援活動

フェーズ	フェーズ0	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
	初動期	緊急対策期	応急対応期	復旧期	復興期
	24時間以内	72時間以内	4日目～2週間	概3週間～1ヶ月	概ね1ヶ月以降
状況	ライフライン寸断	ライフライン寸断	ライフライン徐々に復旧	ライフライン概ね復旧	仮設住宅
想定される栄養課題	<div><ul style="list-style-type: none">・食料確保・飲料水確保・要配慮者の食品不足 (乳児用ミルク、アレルギー食、嚥下困難者、食事制限等)</div>	<ul style="list-style-type: none">・支援物資到着（物資過不足、分配の混乱）・水分摂取を控えるため、脱水、エコノミー症候群が発生	<ul style="list-style-type: none">・避難所栄養過多・栄養不足・栄養バランス悪化・便秘、慢性疲労など体調不良者増加・食生活上の個別対応が必要な人の把握	<ul style="list-style-type: none">・食事の簡便化・栄養バランス悪化・慢性疾患悪化・活動量不足による肥満	<ul style="list-style-type: none">・自立支援・食事の簡便化・栄養バランス悪化・慢性疾患悪化・活動量不足による肥満
栄養補給	高エネルギー食		たんぱく質、ビタミン・ミネラル不足への対応		
食事提供	主食(おにぎり・パン等) 水分	炊き出し	弁当		
支援活動	避難所アセスメント、巡回栄養相談			栄養教育、相談	

JDA-PAT

被災地

被災市町村

JDA-DAT要請

都道府県

日本栄養士会

JDA-DAT要請

都道府県
栄養士会

JDA-DAT要請

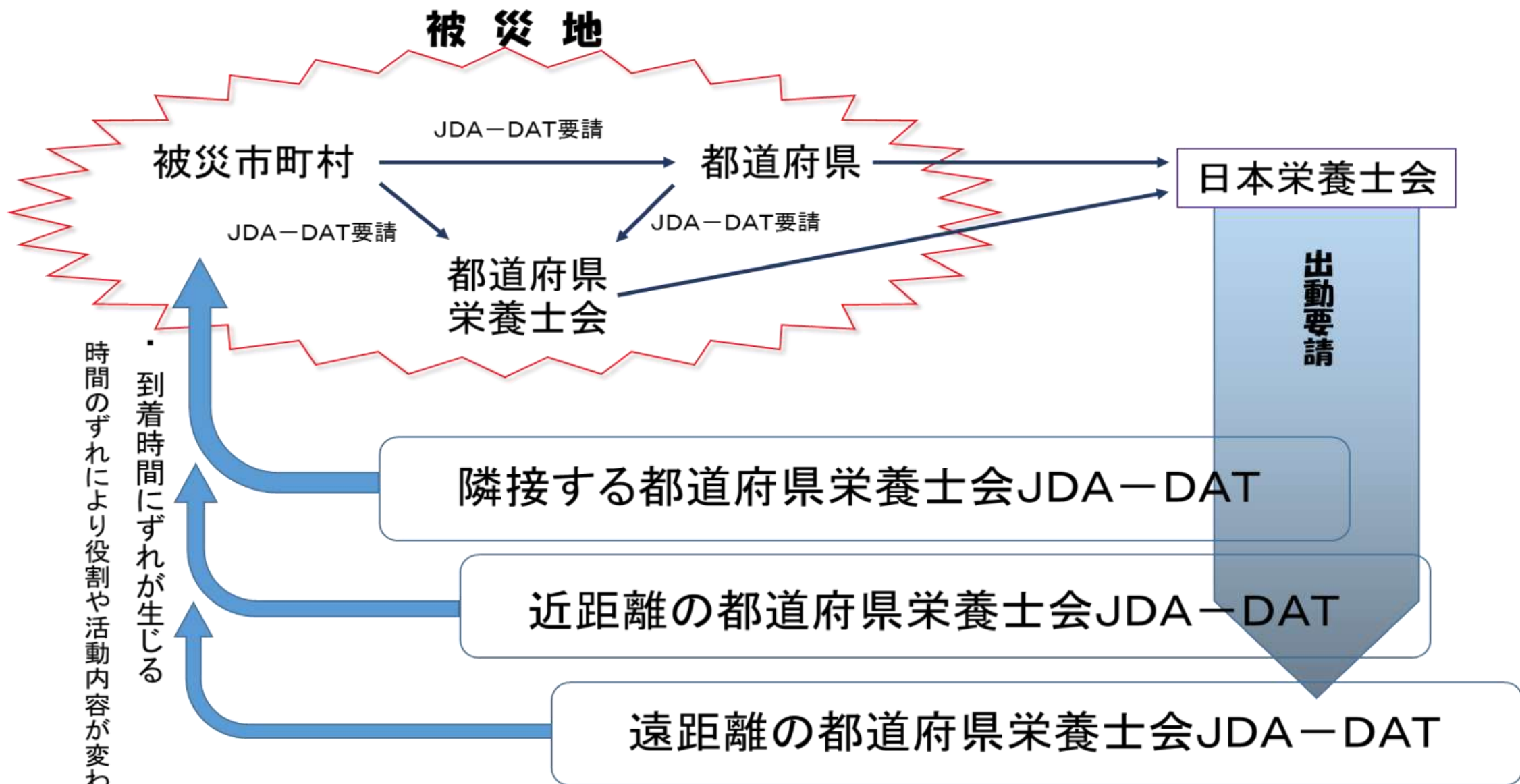
出動要請

隣接する都道府県栄養士会JDA-DAT

近距離の都道府県栄養士会JDA-DAT

遠距離の都道府県栄養士会JDA-DAT

・到着時間にずれが生じる
時間のずれにより役割や活動内容が変わる。

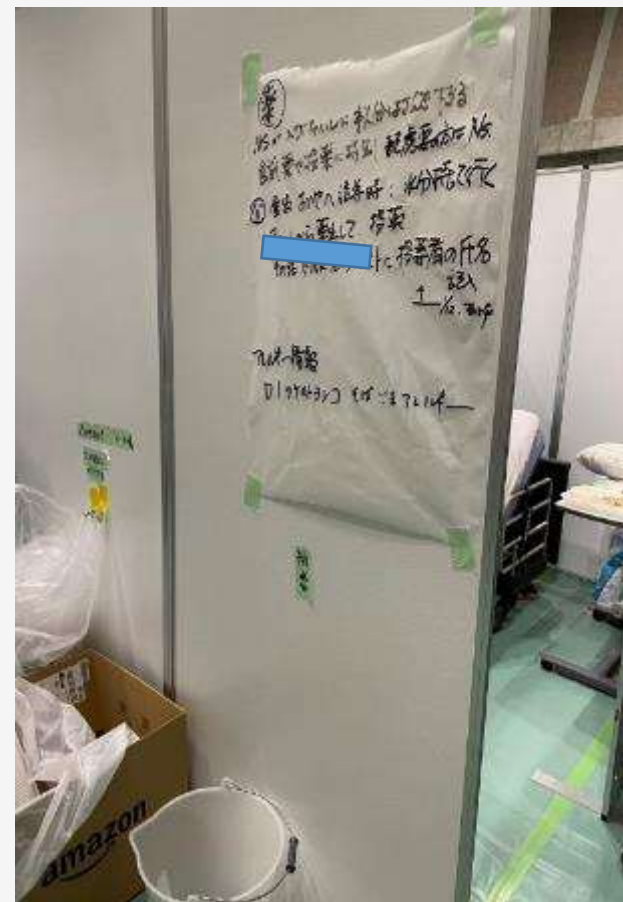


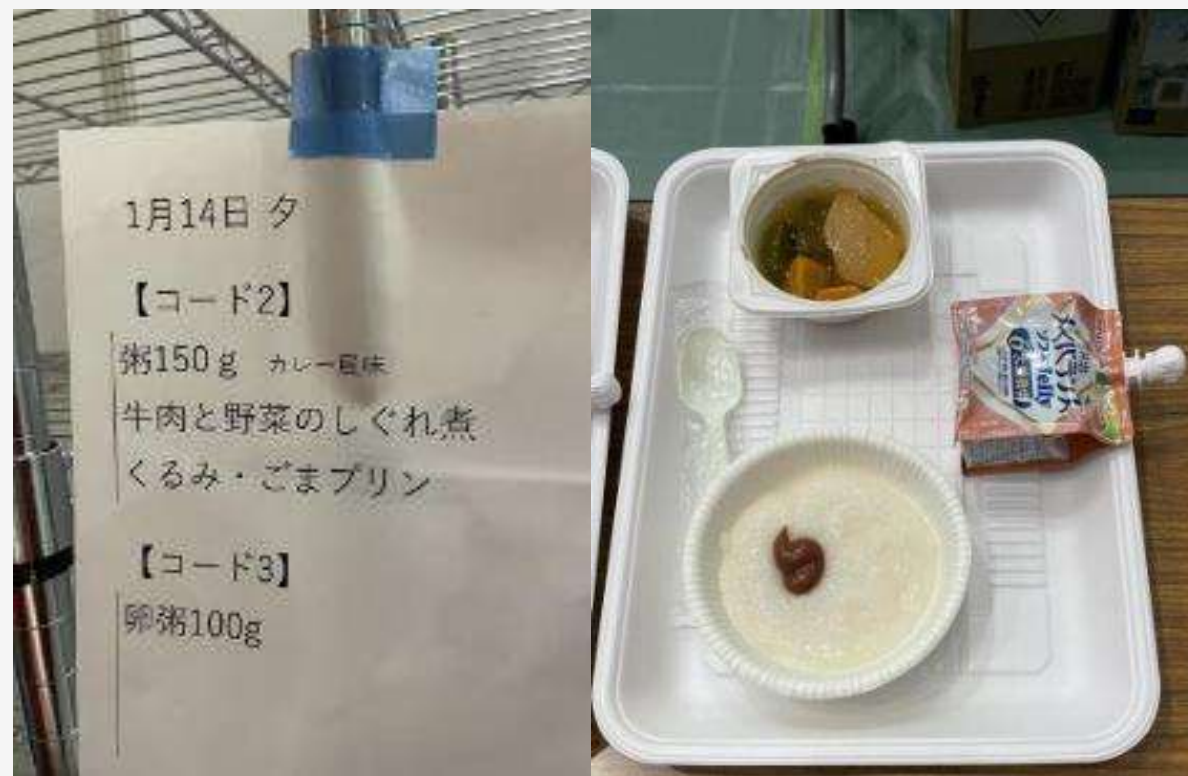
いしかわ総合スポーツセンター



介護などを必要としない方が入るメインアリーナ。
ここから仕事などへ行っていた

1月の時点では1.5時避難所の中の臨時老健として機能を開始 40床 その後1/15以降さらに受け入れ増により一時200床まで増





災害時の支援物資

【プッシュ型支援】

- ・ 必要なものを把握することなく、水やおにぎり、パンなどを被災地に支援するもの

【プル型支援】

- ・ 被災地から要請されるものを支援するもの



学会分類2021と他分類の対応

学会分類2021		他分類			
0j, 1j 物性に 配慮した 離水の 少ないもの	 たんぱく質含有量が少ないゼリー 0j 嚥下調整食品 0j	 「ゼリー: jelly tとろみ: thickness」 学会分類2021(とろみ)の 中間～濃いとろみ たんぱく質含有量が 少ないこと 0t 嚥下調整食品 0t			
	 たんぱく質含有量は問わない プリン・ゼリー・ムースなど 1j 嚥下調整食品 1j				
	 2-1 嚥下調整食品 2-1	 均質で なめらかなもの (あまりさらさら しすぎないこと)			
	 2-2 嚥下調整食品 2-2	 2-1 2-2 べたつかず まとまりやすい ミキサー食、 ペースト食など			
	 3 嚥下調整食品 3	 形はあるが、 潰や入れ潰がなくとも 口腔内で押しつぶし、 食塊形成が容易なもの			
	 4 嚥下調整食品 4	 形があり、かたすぎず、 ばらけにくく、 粘りつきにくいもの、 箸で切れるやわらかさ			
学会分類2021		他分類			
		嚥下食 ピラミッド	特別用途食品	UDF	スマイルケア食
0j	L0 (開始食)		—	0	
0t	L3の一部 (とろみ水)	—	—	0	
1j	L1・L2 (嚥下食Ⅰ・Ⅱ)		かき混ぜて よい	1	
2-1	L3 (嚥下食Ⅲ)		かき混ぜて よい	2	
2-2	L3 (嚥下食Ⅲ)		かき混ぜて よい	2	
3	L4 (移行食)	—	混ぜ つぶせる	3	
4	L4 (移行食)	—	混ぜ つぶせる 潰くまで つぶせる 咀嚼に かめる (一部)	4 —	

※形、特色などの詳細は「嚥下調整食品学会分類2021」の本文及び学会分類2021(食事)早見表をご確認ください。

※他分類の対応に於いて、嚥下食Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、入下調整食品はUDFと同等と見做す。UDF区分は「学会分類2021(食事)早見表」を、スマイルケア食は「スマイルケア食の選び方」を参考にすることが可能です。

※学会分類2021に対応する内容の4分類してあります。嚥下食Ⅰ・Ⅱ・ⅢはUDFと同等と見做す。スマイルケア食は「スマイルケア食の選び方」を参考にすることが可能です。

※学会分類2021に対応していない場合は「—」で記載しています。

行政における要配慮者用の特殊食品備蓄状況

自治体調査※では、地域防災計画等に特殊食品の備蓄に関する事が示されていたのは33.7%でした。
乳児用粉ミルクの備蓄率は、備蓄に関する事が示されていない自治体も含めると22.8%という結果となりました。

特殊食品備蓄率	2013年	
	% (n=418)	全体%(n=1,272)
乳児用粉ミルク	69.6	22.8
ベビーフード	7.2	2.6
アレルギー対応食品	35.9	11.8
おかゆ	51.4	16.9
咀嚼・嚥下困難対応食	4.5	1.5
濃厚流動食	2.9	0.9

出典：山田、須藤、笠岡(坪山)ら、災害時の栄養・食生活支援に対する自治体の準備状況等に関する全国調査～地域防災計画と備蓄について～、Vol. 58 No. 7, 2015, p.33, 日本栄養士会雑誌

全自治体1,789（47都道府県、20指定都市、42中核市、8政令市、23特別区、1,649市町村）を対象に実施し、回収数は1,272（回収率71.1%）。「地域防災計画等に特殊食品の備蓄に関する事が示されている」と回答した自治体は421であった。同回答者に対し、「病院等とは別に行政として備蓄をしている特殊食品」を複数回答で尋ねた結果（n=418）および、その回答数を全体の回収数（n=1,272）で割った結果を示した。

発災 2024年1月1日

JDA-DAT埼玉 2回目 活動日

2024年2月15日～18日

フェーズ2

避難所の食事不足・過多・バランス悪化、
便秘・慢性疲労など体調不良者、
個別な対応の必要な人の把握
衛生管理の啓蒙

- ・ 必要とされているのは？
- ・ 求められているのは？

2/15-18までの活動

輪島公民館

七尾市を拠点にし輪島市の拠点から各避難所巡回（金沢➡七尾（73km） 七尾にて宿泊輪島にて活動（60km）



輪島中学校



巡回内容

- ①避難所の食事内容、在庫状況調査
- ②不足食品調査と補充
- ③要配慮者がいないか聞き取り
- ④環境整備（衛生管理、食塩管理、3色食品群資料の掲示、物資の整理
- ⑤保健センター職員（管理栄養士との連携）活動内容の受注・報告
- ⑥D H E A Tとの連携

栄養相談は現地別チーム
が担当

輪島市内



発災 2024年1月1日

JDA-DAT埼玉 3回、4回目 活動日

2024年3月7日～10日

2024年3月20日～24日

フェーズ2～3

**避難所の食事不足・過多・バランス悪化、
便秘・慢性疲労など体調不良者、
個別な対応の必要な人の把握
衛生管理の啓蒙**

- ・ 必要とされているのは？
- ・ 求められているのは？

3/7-10、3/20-24 石川総合スポーツセンター

1月の頃よりも業務が確立されており食札運営も手書きはなくなりP Cでの業務になっている 2月中は200食までふくれるも3月に入り落ち着き50-100床程度までになる

食事箋のデータ管理が主な業務 入退所や食事箋、個別対応等 食事形態の変更は看護やS Tに相談確認

栄養管理もしており 褥瘡チームの回診もある。こちらからは身長体重食事摂取量の提供をし栄養管理（モニタリングと記録作成）実施。必ず県栄の方へ相談して確認してから実施

栄養相談コーナーは生活されている方の判断でお越しいただくシステム 交代でD A Tメンバーが担当



普通常食



コード2 配食サービス

3/13-17の活動 七尾市（拠点）から珠洲市（85 k m）

D A T号での移動 朝10時までに珠洲市の拠点へ、その後応援に来ている行政栄養士と合流します
珠洲市の栄養士は一度倒れており非常に大変な様子でした。

行政応援 熊本市、福井県、岩手県、神奈川県

D A Tは1チーム（3名）～2チーム（5名から6名）入る形でした

珠洲市では、D A T栄養士チーム単独での活動はなく必ず保健師チームとの同行及び行政栄養士と同行でした。要支援者の方への同行訪問については当日知らされます。避難所以外でも自宅にとどまっている方も多くいらっしゃいました。



行政栄養士エリア



D A T 栄養士エリア



避難所巡回は得有料し支援者抽出ができていたのでその支援者への訪問がありますが他は常に巡回はしませんでした

特殊栄養食品ステーションが栄養士が居なくても（不在時事務の方で対応できるように）食事形態などについて分かりやすく表示することや在庫管理についてエクセル作成を待機中はしました。



避難所への弁当配布がありましたので衛生面や食中毒についての呼びかけポスターの作成もしました。 手書きメイン



珠洲市へ向かう道路
が往路がかなり回復
されています 反対
車線は崩れている所
が多く復路は時間が
かかります

JDA-DAT埼玉

能登半島地震支援経験からの提案

受援の体制づくり

災害時栄養・食生活支援者の立場から見た被災県の状況から振り返る

被災県栄養士会の活動状況

《機能》

- ・ 特殊栄養食品ステーション（モノ）
- ・ 全国のJDA-DAT支援窓口（ヒト）

《指揮命令主体》

- ・ 県栄養士会のJDA-DAT

《情報取得》

- ・ D-MAT、現地医療機関からの直接要請
- ・ 災害対策本部との連携

課題

- ・ モノとヒトの流れを**交通整理**
- ・ JDA-DAT内での**情報の共有**と**役割分担**が出来ていないと、一部の人に過重な負担がかかり、機能しなくなる。

JDA-DAT埼玉（埼玉県栄養士会）ができること

【発災前（平時）】

- 有事の際の栄養食生活支援（活動）**イメージの共有**
- 活動主体・役割分担明確化（組織）
- 地域特性の共有（ヒト）
- 地域別災害拠点・避難所・ライフライン情報の把握
- JDA-DAT登録メンバー名簿（所属・所在・支援分野）

【発災後（有事）】

- 資源（ヒト・モノ）窓口業務（集約）・資源情報提供
➡県の協力要請により対応
- 直接関係した団体との調整とその報告
➡D-MAT・医療機関など
- 避難所支援状況の報告
➡支援ニーズ調査・報告

【提案】 発災前（平時）の連携

協定書（大枠）

【詳細】

- ニーズレベル別の具体的な活動モデル例の作成と実践

情報共有

【例】

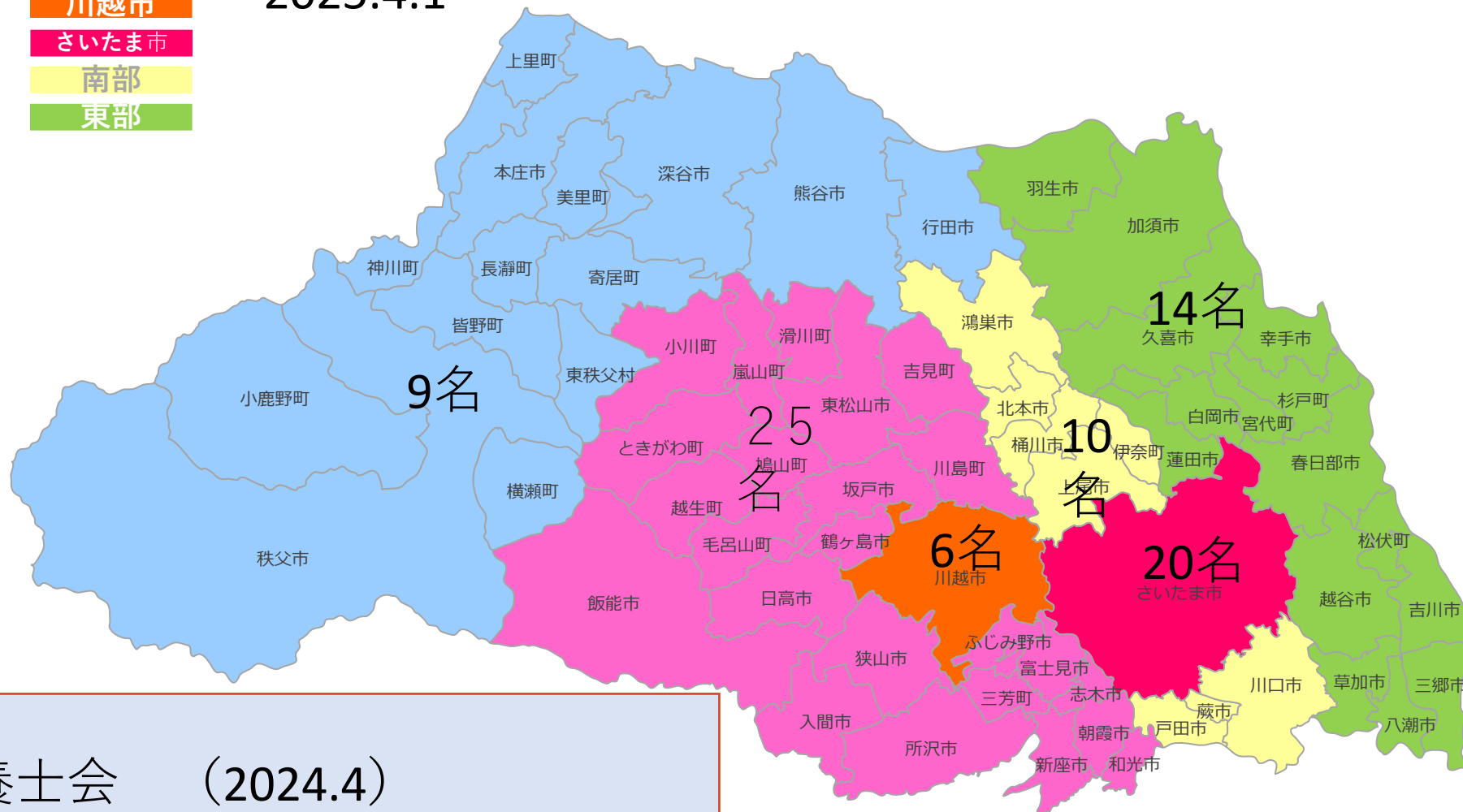
- 地域特性の共有（ヒト）
- 地域別災害拠点・避難所・ライフライン情報の把握
- JDA-DAT登録メンバー名簿（所属・所在・支援分野）

JDA-DAT埼玉県 活動体制の構築について

- 埼玉県栄養士会災害対策本部 総括責任者：栄養士会会長
- 各地区対策支部（チーム編成）
 - ① 東部地区対策チーム：リーダー（地域事業部長）
地区メンバー：
 - ② 西部地区対策チーム：リーダー（地域事業部長）
地区メンバー：
 - ③ 南部地区対策チーム：リーダー（地域事業部長）
地区メンバー
 - ④ 北部地区対策チーム：リーダー（地域事業部長）
地区メンバー
 - ⑤ さいたま市地区対策チーム：リーダー（地域事業部長）
地区メンバー
 - ⑥ 川越市地区対策チーム：リーダー（地域事業部長）
地区メンバー



JDA-DAT埼玉（活動賛同者）地域ごとの人数 2025.4.1



埼玉県栄養士会 （2024.4）

JDA-DAT基本研修修了者 延べ189名

JDA-DATリーダー研修修了者 延べ41名

2025.2
作成

県外リーダー
2名